

令和4年度

学生によるオレンジリボン運動

横浜保育福祉専門学校 実施報告書



実施主体 安藤ゼミナール

実施内容 学園祭や子育て支援団体での啓発、虐待防止イベント手伝い

①事前に取り組んだ内容

- ・今年も大阪二児放置死事件について映画や文献をみて考察し、虐待の連鎖を止めるためにオレンジリボン運動の啓発をしようと考えました。
- ・子どもの虹情報研修センターで児童虐待ならびにオレンジリボン運動についてお話を伺うことができた。また、オレンジリボンたすきリレーの実行委員会を今年も手伝いたいと考えました。
- ・神奈川県内にある乳児院 2 施設、児童養護施設を 2 施設、計 4 施設フィールドワークし、虐待を受けた子ども達への支援について学んだ。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- (1) 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー参加 (2022. 10. 23)
今年で 14 回目を迎えた子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーに、ゼミ生 18 人全員と有志の後輩 5 人、計 23 人で参加し、実行委員会を手伝いました。ゴールになった横浜象の鼻パークで、オレンジリボンや啓発マスクを配ったり、オレンジ色のバルーンアートをつくって、子ども達にプレゼントをして、児童虐待防止に関心をもってもらいました。
- (2) 学園祭での啓発活動 (2022. 10. 29～30)
学園祭でオレンジリボン運動の啓発ブースをつくり、ポスター展示やマスクの配布を行いました。今年は残念ながら、一般開放されず、校内学生の訪問のみでしたが、保育士の卵たちに、児童虐待防止に関心を持ってもらうきっかけになりました。
- (3) 地域の子育て支援団体やコミュニティ FM での啓発活動
本校のある横浜市戸塚区で活動している子ども食堂や地域子育て支援拠点、フードバンク、親子カフェでボランティア活動をしながら、チラシやマスクを配架していただいた。特にマスクは、デザインもかわいく、人気があったとのこと。また、地域のコミュニティ FM 局の番組に月 1 回出演し、番組内でオレンジリボン運動を紹介した。
- (4) 卒業研究発表として啓発
今年も、虐待を受けた子ども達が、育ちなおしできる場所を学び、広めようと活動してきました。校内の後輩に興味を持ってもらったり、行政団体からコラボレーションの打診があったりと、次年度への活動に繋げることができた。

③オレンジリボン運動を終えて…

コロナ禍の中、活動が制限される中で、積極的に学生は活動しました。今年で8年継続して、オレンジリボン啓発活動を行ってきたことで、地域の子育て団体や施設関係者から、啓発がんばってるねと声をかけていただくことが増えました。その中、次年度は、神奈川県子ども家庭課とコラボレーションできないかと先日協議することができました。「継続は力なり」と言いますが、次年度も引き続き、オレンジリボン運動を広めることで、子ども達の笑顔を増やしたいです。

写真



学園祭での啓発ブース



子ども虐待防止
オレンジリボンたすきりレー



FM 戸塚 番組出演



地域子育て支援拠点ボランティア